

【9L2L103】地域の歴史と文化		教養科目		1年後期		
		2単位	選択	講義	30時間	
教員	小川 敏雄					
資格・制限等	歯科は選択必修					
授業内容	<p>本学が所在する岐阜県の歴史や文化には、地域的な特色があります。たとえば、東西通行の要衝にあり低湿地帯でもある西濃地域には、中央政権の争いの場となり水との戦いが繰り返されたりした歴史や文化があり、美濃の中央に位置する岐阜地域には、時の権力者が本拠を置いて美濃支配の中心となった歴史や文化がありました。東濃地域には名家が発祥した歴史や文化、白鳥・白川郷地域には信仰に関わりの深い歴史や文化、飛騨地域には森林資源や木工技術との関わりから中央政権の直接支配を受ける歴史や文化がありました。こうした地域の特色を、代表的な歴史事象を通して理解していきます。</p>					
実務家教員						
授業方法	歴史事象を今に伝える史料、史跡や文化財の写真、現在地を示す地図等をパワーポイントで紹介しながら授業を進め、主体的思考が可能な部分では意見発表や討議等の学修法を取り入れます。					
到達目標	知識・理解	地域の歴史や文化について基本的な内容を理解することができる。				
	思考・判断・表現	地域の歴史や文化が、地域の地形や地理的位置等自然環境とどのように関わっているかを考えたり、判断したり、表現したりすることができる。				
	技能	地域の歴史や文化の特色について、地図や写真、年表等を使って説明することができる。				
	関心・意欲・態度	地域の歴史や文化に関心をもち、積極的に調べたり、考えたりして学修に取り組むことができる。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示します。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	毎時間のミニテスト	30	20	-	10	60
	受講態度	-	5	5	30	40
	合計(点)	30	25	5	40	100
評価の特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミニテストは理解度確認テストで、その時間の学修内容からポイントとなる点について発問し、解答するものです。ノートを見て解答してもかまいません。また、その時間の授業についての感想も書いてもらいます。解答は採点し、感想には教師のコメントを添えて次の時間に返します。</li> <li>受講態度は、真剣に聞いているか、しっかり発言するか、遅刻や早退はないかななどで評価します。</li> <li>全授業の3分の1以上欠席した場合は、単位取得の対象外とします。</li> </ul>					
ICT活用						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、毎時間のミニテストは回収後に解答の解説を行いますし、感想には教師のコメントを添えて次の時間に返します。					
テキスト						
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	<p>岐阜県の歴史の地域的な特色 郷土岐阜県には、地域的な歴史や文化の特色があり、西濃地域や東濃地域、岐阜地域、白鳥・白川郷地域、飛騨地域等の特色を概括する。 [課題(復習)]本時の学修を復習し、今後の学修の見通しを立てる。(3h)</p>					
2	<p>西濃地域の歴史－壬申の乱と不破関－ 畿内からの出口という地形的な特徴が壬申の乱の舞台となり、また、そうした特徴によって不破関が置かれた。 [課題(復習)]壬申の乱と不破関について学修したことをまとめる。(3h)</p>					
3	<p>西濃地域の歴史－美濃国府と美濃守笠朝臣麻呂－ 畿内からの出口に近い西濃には、美濃国府や国分寺等重要な施設が置かれ、美濃国の中心地であった。8世紀前半、長年にわたって美濃守を務めた笠朝臣麻呂は、美濃国において諸事業を成し遂げた。 [課題(復習)]美濃国府と美濃守笠朝臣麻呂について学修したことをまとめる。(3h)</p>					
4	<p>西濃地域の歴史－関ヶ原の戦い－ 東西通行の要衝である関ヶ原では、豊臣秀吉後の覇権を巡って石田三成と徳川家康が天下分け目の大合戦を行った。 [課題(復習)]関ヶ原の戦いについて学修したことをまとめる。(4h)</p>					
5	<p>西濃地域の歴史－大垣城と戸田氏－ 寛永12(1635)年、大垣に配された譜代大名戸田氏は、治水や文教等特色ある藩政を行い、改革を繰り返しながら、幕命による事業にも対応して、明治に至る迄234年の治世を全うした。 [課題(復習)]大垣城と戸田氏について学修したことをまとめる。(4h)</p>					
6	<p>西濃地域の歴史－宝暦治水と明治の三川分流工事－ 木曾・長良・揖斐の三川が合流し水害に悩まされた西南濃では、三川の分流が最大の課題であり、宝暦治水や明治の三川分流工事を通して漸く願いを叶えた。 [課題(復習)]宝暦治水と明治の三川分流工事について学修したことをまとめる。(4h)</p>					
7	<p>東濃地域の歴史－東濃の雄・遠山氏の発祥－ 鎌倉時代、岩村の地に発祥した遠山氏は、戦国時代には全盛期を迎えて東濃一帯に勢力を張った。以後、武田氏や織田氏の有力大名に押されて本家が滅亡し、わずかに苗木と明智の二氏が江戸時代にまで命脈を保った。 [課題(復習)]遠山氏について学修したことをまとめる。(3h)</p>					
8	<p>東濃地域の歴史－美濃の雄・土岐氏の発祥－ 平安時代、美濃に住み着いた源氏の一流は、土岐郡に本拠を移して土岐氏を名乗るようになった。鎌倉末期には足利尊氏に従って幕府打倒に与し、室町時代には美濃国守護となって本拠を厚見郡長森に移した。 [課題(復習)]土岐氏の発祥について学修したことをまとめる。(3h)</p>					

内容	
実施回	授業内容・目標
9	<p>岐阜地域の歴史－土岐氏の変遷－  厚見郡に移った土岐氏は、長森から革手・福光・枝広・大桑へと府城を移しながら、200年以上にわたって美濃国守護の地位を保ち続けた。  [課題（復習）]8・9回の学修を復習し、土岐氏の変遷についてまとめる。(8h)</p>
10	<p>岐阜地域の歴史－斎藤道三と織田信長－  土岐氏を追いやって美濃国主となった斎藤道三は、稲葉山城を本拠とし館や城下町を築いて、この地を美濃の中心とした。道三の孫を稲葉山城に破って美濃に進出した織田信長は、壮麗な館や城下町を整えて天下統一の足場とした。  [課題（復習）]斎藤道三と織田信長について学修したことをまとめる。(4h)</p>
11	<p>岐阜地域の歴史－美濃代官役所の変遷－  関ヶ原合戦に先立つ戦いで岐阜城が落城し、本戦で徳川家康が勝つと、西軍に与した大名たちの所領が没収され、美濃国内には多くの幕府直轄地ができた。その支配を行うために美濃国奉行所が岐阜町に置かれ、以後、姫郷・揖斐・徳野・笠松へと変遷した。明治になって岐阜県庁とされ、厚見郡今泉村を経て現在地に移され今日に至る。  [課題（復習）]美濃代官役所の変遷について学修したことをまとめる。(3h)</p>
12	<p>白鳥・白川郷地域の歴史－白山信仰と浄土真宗－  霊峰白山は白山信仰の拠点として奈良から平安、鎌倉、室町時代にかけて隆盛を誇った。鎌倉時代には親鸞の弟子の嘉念坊善俊が白川郷に浄土真宗の道場を開き、一帯に信仰を広めて白川郷は浄土真宗隆盛の地となった。  [課題（復習）]白山信仰と白川郷の浄土真宗について学修したことをまとめる。(3h)</p>
13	<p>飛騨地域の歴史－両面宿儺と飛騨匠－  両面宿儺が治めていたとされる飛騨は、5世紀以降大和政権下に入ると、木工技術に優れる者が多いことから匠丁を出す国として律令に規定され、多くの匠丁が都に出て宮城や大寺院の造営に当たった。  [課題（復習）]両面宿儺と飛騨匠について学修したことをまとめる。(3h)</p>
14	<p>飛騨地域の歴史－飛騨の統一と高山町の形成－  飛騨国司の姉小路氏、高原郷の豪族江馬氏、飛騨国守護佐々木京極氏の被官から頭をもたげた三木氏が対抗し、三木氏が飛騨を統一した。しかし、天下人豊臣秀吉に従わなかったため配下の金森氏の攻撃を受け滅んだ。以後は金森氏が飛騨を支配して高山城を築いたり高山町の形成に努めたりした。  [課題（復習）]飛騨の統一と金森氏の飛騨攻略について学修したことをまとめる。(4h)</p>
15	<p>飛騨地域の歴史－幕府の直接支配と騒動－  金森氏の転封以後飛騨は一国が幕府直轄地となり、代官や郡代が派遣されて支配に当たったが、江戸時代には大原騒動、明治初年には梅村騒動という大騒動が起きた。  [課題（復習）]幕府の直接支配と騒動について学修したことをまとめるとともに、15時間 の学修を振り返り、岐阜県の歴史の地域的な特色をまとめる。(5h～8h)</p>
時間外での学修	<p>授業ごとに次回の授業内容を知らせますから、インターネット等で予備知識を得てきてください。授業では、史跡や文化財の所在地等を示しますから、見学に出かけるなど立体的な学修を進めると良いでしょう。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】</p>
受講学生へのメッセージ	<p>それぞれの地域にはそれぞれの地域の特性に合った歴史や文化があり、その歴史や文化が今日の地域社会を築き上げています。そうした歴史のロマンを感じるような学修にしたいと思います。  オフィスアワーは、毎週水曜日の授業後10:30～11:30、場所は非常勤講師控室です。</p>

科目の受講を希望する学生にシラバスに記載されていない情報を提供します。

科目名	地域の歴史と文化
時間割	毎週水曜日 1時限目 9時00分 開始 10時30分 修了
初回の授業日	9月29日 水曜日
講義室	大垣女子短期大学 西之川キャンパス A号館 301 講義室
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者は女子のみとなります。</li> <li>・自動車による通学は可能ですが、事前に事務局に届出てください。</li> <li>・バイク、自転車で通学する場合も事務局に届出てください。</li> </ul>
授業についての問合せ	大垣女子短期大学 教務・入試広報課 Tel: 0584-81-6817 平日9時より17時まで (学休日除く)

地 図	
交通アクセス	JR大垣駅北口より名阪近鉄バス 女子短大線、大垣女子短大スクール線で約10分。 「大垣女子短大前」で下車。 詳細は大垣女子短期大学ホームページの『交通アクセス』を参照してください。 <a href="https://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/access/">https://www.ogaki-tandai.ac.jp/guide/access/</a>